◎道路維持の経費

道路維持補修事業

都市整備総務課·道路整備課

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち 道路整備:歩行者と車が共存できる交通環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 市民等の安全性、利便性を確保するため。

効果 安全で円滑な交通を確保するための施設保全を図る。

【事業の内容】

- (1) 道路維持補修事業
 - ・委託、請負による道路の維持補修を行い、安全で円滑な通行を確保すると共に、事故防止に努めた。(市道035-026号線、市道025-000号線、市道055-000号線外を実施した。)

- ・市道053-101号線の階段復旧工事は実施出来なかった。
- (2) 特殊地下壕対策事業
 - ・特殊地下壕について現況調査を実施し、その結果を基に安全性が確保される適切な方法により地下壕の埋め戻しを実施した。

【事業費】 (単位:千円)

【事業質】							
当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額			
153,072	147,072	132,231			14,841		
主な支出内訳							
· 道路維持補修事	事業						
崩落土処分等	業務委託料				8,525		
内訳 崩落	土処分及び倒木等	4件			3,030		
調査	業務委託	2件			5,495		
道路維持修繕	工事請負費				121,218		
内訳 鎌倉	`山二丁目15番 先	アスファルト舗装工	A=1,496㎡、排水工 1	L=323.5m	29,743		
净明]寺二丁目2番 先	アスファルト舗装工	A=269㎡、排水工 L=	=168.7m	10,708		
大船	三丁目16番 先	アスファルト舗装工	A=221㎡、排水工 L=	=170.8m	9,024		
常盤	82番地 先外	アスファルト舗装工	A=574㎡、排水工 L=	41.8m	15,750		
上町	屋685番地 先	アスファルト舗装工	A=62m ² 、排水工 L=2	23.8m	2,431		
雪ノ	下一丁目9番 先	アスファルト舗装工	A=147㎡ 排水工 L=8	80.8m	8,587		
二階	堂373番地 先	アスファルト舗装工	$A=1,084 \mathrm{m}^2$		5,250		
城廻	1100番地 先	アスファルト舗装工	$A=899 \mathrm{m}^2$		3,216		
材木	座一丁目11番 先	排水工 L=210m			3,381		
笹目	町5番 先外	アスファルト舗装工	A=502㎡、排水工 L=	=122.5m	7,770		
常盤	528番地 先	アスファルト舗装工 A=1,	302㎡、薄層カラー舗装工	$A=282 \text{m}^2$	7,550		
大船	一丁目9番 先外	アスファルト舗装工	A=213㎡、排水工 L=	87.1m	4,998		
大船	二丁目1番 先	アスファルト舗装工	$A=1,169 \mathrm{m}^2$		6,090		
七里	ガ浜東二丁目2番 先	アスファルト舗装工	$A=1,080 \mathrm{m}^2$		6,720		
• 特殊地下壕対赁 特殊地下壕調					1,711 777		
主な特定財源 ・ 国県支出金					1,243		

事務事業	■サービス□支援		都整-02	道路維持	補修事業					
No./名 称 事務事業		1	特殊····································			Ī				
単位	ザイムス コード及び		1寸7本26 1 2	<u> </u>						
, ,	個別事業									
	名									
主管課		都市整備約	総務課		関連課		道路整備認	₹		
分野名										
目標 (目標値)										
人口等の	データ区分		年度		年度		年度	備	考	
データ	世帯数		484人 0世帯		002人 6世帯		051人 1世帯	•各年4月1	H	
	上市致	77,43	O 155 .443.	70,33	о 175. др.	73,01	1 TE .4D.	=		
運営資源	決算値	2,487	午円							
状 況	(国・県)	1,243	千円					1		
	(負担金等)	1 24/	4千円					-		
	人員配置数		* T 口 人							
	人件費		千円					-		
	協働の									
事務事業	パートナー									
運営経費	総事業費	·	4千円							
	市民1人当 りの経費	19	円							
	対象者1人 当りの経費									
20年度事務			・ 縮小し	た個別事業)/事業仕分	けの視点に	よる妥当性	の評価		
個別事				点·変更理由			妥当性※			
特殊地下壕	対策事業	2,487	特殊地下壕	状況調査及び	が埋め戻し実	施のため	4	※妥当性の		
								① 必要性	なし	
								② 民間 ③ 国·県		
								④ 現行ど	おり(鎌1	倉市)
指	標	評	価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度((年度)
				目標値						
	I TO	=-	- I	実績値						
指	標	計	· 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
				目標値 実績値						
指	 標	評	· 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
, i	IVA	H	· ima	目標値	10 1/2	10 1 12		1 / 2		
				実績値						
指	標	評	価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
				目標値						
== /T			F1	実績値	7 4 1# /	181	W 121 - 1			
				で前進していた	る △:横[まい × :1	後退している)		
ベンチマーク 団体名	/(宗内21日) 	海神で氏间	四体とのに							
그 11 11 1				1					<u> </u>	
				1					—	
				+		-			 	
				1		1				

創意・工夫・	課題·問題点		8事業を実施	するうえでσ)課題•問題	点は、どのようなこと	でしたか)	
課題等改善	本庭 "问起点	特になし						
状況								
	創意・工夫・課							
	題等の改善点	特にか						
	題等の改善点 20年度の成果	1910/80						
	未解決の課	(20年度事務	務事業の取組	において対	応(解決)で	きなかったものはどの	のようなことです	か)
	題•問題点	特になし						
	△後の士科							
	今後の方針 (対応・改善)		できなかった記	果題・問題点	について今	後どのように対応(改	(善)していきます	「か)
	(对心"以音)	特になし						
		1						
			一次	<u>:評価(課</u>	<u>長評価)</u>			
		A:充実又は	拡大	C:統合又に	は縮小	E:事業完了		改善の必要性
		B:現状のま	ま継続	D:廢止又は	は休止		B	無
今後の七白州	世め戻しの要望					下壕を新たに発見し	<u>た場合は 制</u>	世の対象と
ラ後の方向住	なるか否かを判	判断し、凍や	かに対応し	ていく。	.0.141 W. C. 1	「多で物力につかんし	27こ列口16、197	文の方法に
	5. 5% H. C.	14101 2	, , , , , ,					
担	当課長氏名:			į	都市整備	総務課長 小礒	一彦	
			二次	評価(部	長評価)			
		A:充実又は		C:統合又に		E:事業完了		改善の必要性
						ニヂ末ル!	В	
		B:現状のま	ま継続	D:廃止又に	下 作			無
今後の方向性	現状を維持し、	円滑に業務	を行う。					
/5/ /12								
		1						
担当部名		都市整備	備部		部長名		高橋 洋	

事務事業	ロサービス		都整-13	道路維持	補修事業					
No./名 称	口支 援 部		\ `` □\\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\	计版本 类		1				
事務事業 単 位	ザイムス コード及び		道路維持	補修爭業						
	個別事業									
	名									
主管課	道路整備認	ŧ.			関連課					
分野名	道路整備									
目標 (目標値)	道路の良好	Pな維持・管	理							
人口等の	データ区分	20:	年度	19:	<u></u> 年度	18	<u>年</u> 度	備	考	
データ	人口		12 484人	_	902人		051人	•各年4月1		
	世帯数	77,43	0世帯	76,53	6世帯	75,61	1世帯	1		
運営資源	決算値	129,74	3千円	153,30	3千円	162 94	11千円			
とこう	(国・県)	120,7		100,00		102,0		•		
	(負担金等)									
	(一般財源) 人員配置数		43千円 9人)3千円)人		<u>41千円</u> 6人	-		
	人件費))千円		7 7千円		3千円			
	協働の									
事務事業	パートナー									
■ 事務事業 ■ 運営経費	総事業費	138,18	33千円	162,35	50千円	178,5	34千円			
	市民1人当	78	3円	92	3円	1.0:	20円			
	りの経費 対象者1人					.,		1		
	当りの経費									
20年度事務			・ 縮小し	た個別事業)/事業仕分	けの視点に	よる妥当性	の評価		
個別事	業名	変更額(千円)	事業の変更	点·変更理由			妥当性※			
								※妥当性の ① 必要性		
								2 民間	./40	
								③ 国・県		
指	標	=a	<u>·</u> 価	上左曲	10 F F	00左座	0.4 左座	④ 現行ど	おり(鎌が)	
担	际	i i	- 1Ш	年度 目標値	19年度	20年度	21年度	22年度	取於平及	(平度)
				実績値						
指	標	評	価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
				目標値						
+15	1m	≘a	: /==	実績値			a. 5 -	00 to the		
指	標	Ē †	価	年度 目標値	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
				実績値						
指	標	評	価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
				目標値						
				実績値						
	:目標を達成			で前進してい	る △:横Ⅰ	ばい ×∶í	後退している)		
ベンチマーク 団体名	八宗内外日》 	活体や氏间	団体とのII I	<u>【牧旭)</u> 【					Т	
四件石										
				1		-		 	 	
				+		1		 	+	
]					

創意·工夫· 課題等改善 状況	課題·問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ※市域全域の道路及び道路施設は、整備後、相当の年数が経過しており、その補修要望の内容も幅広く、件数も多く、その対応に苦慮している。
	趙寺の改善点	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ※多くの補修要望は、その要望内容及び状況に応じて、作業センターとの連携を図り、有効かつ効 率的な対処に努めた。
	未解決の課 題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ※要望の箇所及び内容が多岐にわたり、また抜本的な改修を行うべき要望箇所も多いことから、当該年度内での対応が図れず、次年度以降の対応とせざるを得ない案件も多数あった。また、これまでの累積案件についても処理できなかったものもあった。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ※道路及び道路施設を調査し、維持補修の優先順位をつける。 ※作業センターとの連携をよりいっそう強化し、要望内容を精査し、有効かつ効率的な対 応を図っていきたい。
		一次評価(課長評価)

	久計圖(蘇及計圖)									
		A:充実又は	拡大	C:統合又は縮小	E:事業完	了	Α	改善の必要性		
	B:現状のま	ま継続	D:廃止又は休止			A	有			
	今後の方向性	市域内の多くの道路の総多岐にわたる要望が寄せ						性があり、		
	担	当課長氏名:		道路	整備課長	坂巻龍馬				

二次評価(部長評価)

	A:充実又は拡大	C:統合又は縮小	E:事業完了		改善の必要性
今後の方向性	B:現状のまま継続	D:廃止又は休止		А	有
	道路を良好に維持し、生活基盤の	安全性を確保するため	事業を拡充する。		
	#100 -1- ±10 141 #10	1.5	<u> </u>	- >>4	
担当部名	都市整備部	部長名	高福	茅	